

富士フイルムメディカル

<https://www.fujifilm.com/fms/ja>

地球上の笑顔の回数を増やしていく。

【主な紹介製品】

- AIプラットフォーム
「SYNAPSE SAI viewer」
- 3D画像解析システム
「SYNAPSE VINCENT」
- 放射線部門業務システム
「RADISTA Workflow」
- 放射線治療部門情報システム
「RADISTA TheraRIS」
- デジタルマンモグラフィシステム
「AMULET SOPHINITY」
- 一般撮影間接変換FPD装置
「FUJIFILM DR CALNEO Flow」
- 軽量X線透視診断装置
「FUJIFILM DR CALNEO CROSS」



AMULET
SOPHINITY



SYNAPSE SAI viewer



RADISTA TheraRIS

デジタルマンモグラフィ

「AMULET SOPHINITY」

操作者・医師・受診者の感覚に寄り添ったデザインと高精細ながら低線量のトモシンセシス機能を備えた同装置は「HCP (Hexagonal Close Pattern) 構造」TFTパネルを採用した直接変換型FPDと、ISCやFSC、DYNなどの多彩な画像処理機能と組み合わせることで、低線量でも画素サイズ50 μ mの高精細な画像を提供する。また、AI技術^{*}を活用して開発した「プロジェクション機能」や「ポジショニング解析」をオプション搭載することで、ポジショニングをサポート。さらに、2023年12月1日に発売した「パイオプシーユニット」オプションについても、実機を展示する。

AIプラットフォーム

「SYNAPSE SAI viewer」

読影ソリューションコーナーでは、AI技術^{*}を用いてワークフローの効率化を図るシステムとして、AIプラットフォーム「SYNAPSE SAI viewer」、ビューワー一体型読影レポートシステム「SYNAPSE SAI Report」を中心とした展示を行う。

「SYNAPSE SAI viewer V2.4」では、周辺組織と比較して濃度差のある領域を強調表示するSAIフィルタで肺動脈低吸収値強調フィルタ、膀胱吸収値強調フィルタなど対象領域の拡充、ユーザーからの要望が多かったTAA、AAAを簡便に計測できる大動脈ビュー、ユーザーが指定した範囲の中で脳腫瘍の1つである神経膠腫疑いのある領域を抽出する頭部関心領域セグメンテーション (MRI) を搭載。

「SYNAPSE SAI Report V1.3」では、

「SYNAPSE SAI viewer」との連携機能であるビューワー上での所見分入力、ハイパーリンクを中心に紹介する。

2024年4月から医師の働き方改革の新制度が施行され、労働管理の徹底、労働時間の短縮を求め、より一層業務効率化が求められる時代となっている。富士フイルムメディカル株式会社は放射線科の画像診断医を強力に支援する機能を随時搭載し多面的にソリューションを提案する。

放射線治療部門情報システム

「RADISTA TheraRIS」

放射線治療部門における患者を中心としたチーム医療を支援するワークフローシステム「RADISTA TheraRIS」を展示する。「RADISTA TheraRIS」は電子カルテ、治療装置、治療計画装置とオンライン接続・連携することで、放射線治療に関わる医療従事者の業務を安全かつ効率的に支援する。